

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

新年早々、うれしいニュースが飛び込んできました。日本経済新聞社（日経グローバル）による「全国市区・SDGs先進度調査」において、前回に続き、**2回連続で全国1位**の評価をいただきました。

環境分野で1位（前回1位）、社会分野で3位（前回8位）、経済分野では、18位（前回47位）となり、総合1位がさいたま市となりました。

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、「持続可能な都市」「市民一人ひとりがしあわせを実感するまち」を実現するという本市の取り組みと方向性を同じくするものです。

政令指定都市20周年を迎える年の始まりに、このような評価をいただいたことは大変うれしいことです。引き続き、市民の皆さん、企業や団体の皆さんと連携・協働しながら、「持続可能な都市」「市民一人ひとりがしあわせを実感するまち」の実現に向けて、様々な施策に全力で取り組んでまいります。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
昨年5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選。共栄大学客員教授、指定都市市長会 副会長も務める

令和4年度さいたま市風水害対策図上訓練を実施

さいたま市では、近年、頻発・激甚化している風水害に対し、本市の災害対応力の強化と市職員の災害イメージ形成を図ることを目的に、各部災害活動マニュアルの習熟及び検証を行っています。

今年度は令和4年7月12日に埼玉県内で発生した集中豪雨をもとに、市内で同様の状況が生じた場合を想定した図上訓練を行いました。主な訓練項目は、以下のとおりです。

- ①集中豪雨を想定した災害対応訓練
- ②災害対策本部員会議開催
- ③風水害時における情報伝達及び連携体制の検証
- ④浸水想定区域等に対する避難情報の発令
- ⑤各部及び区災害対策本部相互の連携
- ⑥短時間での災害活動体制の移行 の6点です。

また、いつこのようなケースに直面するかわかりません。しっかりと対応できるように検証した成果を反映してまいります。

